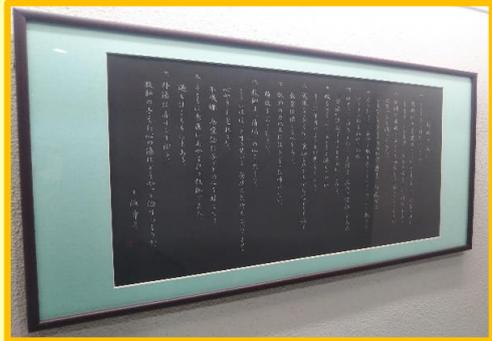
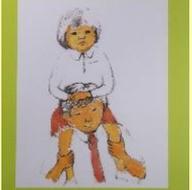


わが教師十戒 ～「肩車にのって」はしがきより～

肩車にのって
毛涯 章平



研究所3階入り口フロアのスペースに、長野県の信濃教育を代表する教育者である、毛涯章平先生が残された「教師十戒」が展示されています。研究所職員の揮毫による作品です。流麗な筆により「子どもたちの行為に目をとめて、絶対の愛情と信頼のもと、あわてることなく降り注ぐ恵みの雨のように対処する毛涯先生の教育観」に深く触れ、多くのことを感受することができますと思います。来所の際は、ぜひ教育の不易である金言・至言をご覧ください。

教師十戒

毛涯章平

- 一、子どもを、こばかにするな。教師は、無意識のうちに子どもを目下の者と見てしまう。
- 二、規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまふな。必ず一方を開けてやれ。さもなると、子どもの心が窒息し、枯渇する。
- 三、近くにきて、自分を取り巻く子どもたちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- 四、ほめることばも、しかることばも、真の「愛語」であれ。「愛語」は、必ず子どもの心にしみる。
- 五、暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
- 六、成果を急ぐな。裏切られても、なお、信じて待て。教育は根くらべである。
- 七、教師の力以上には、子どもは伸びない。精進をおこたるな。
- 八、教師は「晴明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、不愛想は、子どもの心を暗くする。
- 九、子どもに、素直にあやまれる教師であれ、過ちは、こちらにもある。
- 十、外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。

12月 休館日のお知らせ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
4 休館	5 休館	6	7	8	9	10
11 休館	12 休館	13	14	15	16	17
18 休館	19 休館	20	21	22	23	24
25 休館	26 休館	27	28	29 休館	30 休館	31 休館

論文の締め切り近づく！

師走となりました。2学期は、思い出深い行事が多くあり、児童生徒とともに充実した日々を過ごしたことと思います。

来年、1月6日が岡崎市教育論文の締め切り日となっています。教育図書室には、昨年度の優秀論文を展示しています。論文執筆の一助になることと思います。



1月6日まで展示